日本地学史文献集補遺

日本地学史資料調査委員会

Additional Bibliography of History of Japanese Earth Sciences

Compiled by Committee for History of
Japanese Earth Sciences,
Tokyo Geographical Society

はじめに

本稿は日本地学史資料調査委員会が1976年に発表した「日本地学史文献集 附海外関係文献」(地学雑誌, Vol 85, p 354-379)の不足を補い、新たに1976年以降1983年までの文献を追加したものである。

文献の収録方針は前回と同様通史的なものを主としているが、若干制限の枠をゆるめている。と

くに、前稿の10項目の分類中、Xの科学史一般、大学関係、博物館などの項目を廃し、新たにXとして地学史一般の項を設けた。これには日本に限定しない通史、課題別研究史、人物などが含まれている。その(1)は欧文の出版物、(2)は1930年以降の邦文の出版物のそれぞれ代表的なものである。

文献の配列順、記載要領は前稿に準している。

I. 地質・鉱物・古生物

- 1934 後閑文之助 江戸時代の鉱業と地質 「江戸時代の科学」, 東京科学博物館編, p 181-204
1943 早坂一郎 明治以前の本邦地質学・鉱物学 「随筆地質学」, 東京書籍, p 129-166
1947 松本達郎 層序地質学の開拓者 地球の科学, Vol 2, No 3, p 8-13
1947 後閑文之助 地球の円いのを日本人が認識するまで 地球の科学, Vol 2, No 3, p 14-18
1962 江原真伍 Fossa Magna を中心として—NAUMANN 博士日本島の踏査 地学研究, Vol 12, No 9, p 307-309
1963 KIMURA, T · Glossary of Geotectonic Terms of Japan “*Geology of Japan*” (TAKAI F. et al eds), The University of Tokyo Press, p 223-234
1964 鎌田泰彦 長崎県地質研究の基礎を築いた人々 長崎県地学会誌, No 4, p 28-32
1965 小林貞一 国際地学連合第2回総会 地学雑誌, Vol 74, No 3, p 155-163
1965~66 都城秋穂・地球科学の歴史と現状 (1)~(15) 自然, 1965年 No. 9, p. 55-62 No 10, p 79-87 No 11, p 56-65 No 12, p 52-60 1966年 No 1, p 55-63 No 2, p 48-55 No. 3, p 46-53 No 4, p 68-75 No 5, p 76-83 No 6, p 69-75 No 7, p 71-77 No 8, p 70-77 No 9, p 65-73 No 10, p 60-70 No 11, p 66-73
1967 松本明知 弘前の蘭医佐々木元俊と「地学全書」そのほか 蘭学資料研究会研究報告, No 203, p 1-8
1968 小林貞一 市川渡博士と日本のジュラ 「文集市川渡先生退官記念」, p. 15-19.
1969 小林貞一 日本地質学地理学輯報40巻 地学雑誌, Vol 78, No 2, p 64-70

- 1969 波部忠重：日本の貝類を採集した外国人。自然科学と博物館，Vol. 36, No. 7-8, p. 167-175.
- 1973 牛来正夫：わがカコウ岩研究史を語る（その3）。地球科学，Vol. 27, No. 4, p. 154-160.
- 1974 十勝団体研究会編：「ナウマン象のいた原野 十勝団研12年の歩み」。北海道大学図書刊行会，365 p.
- 1975 速水 格：最近の進化学説と古生物の形態変化。科学，Vol. 45, No. 8, p. 477-488.
- 1975 柴崎達雄：最近の第四紀地質学—1—その生いたちと背景。土と基礎，Vol. 23, No. 5, p. 93-99.
- 1975 清水大吉郎編：「京都大学理学部地質学鉱物学教室所蔵地質学古典目録解題」。15 p.
- 1976 土井正民：わが国の19世紀における近代地学思想の胎動—粘土類を中心として—。粘土科学，Vol. 16, No. 2, p. 43-55.
- 1976 小泉光恵：Zeolite science の30年 鉱物学と鉱物工学との結びつき（講演）。鉱物学雑誌，Vol. 12, No. 5, p. 303-313.
- 1976 武井規朔：東西日本の境界地域に関する研究史。地質学論集，No. 13, p. 3-14.
- 1976 山下 昇：構造地質学的にみたフォッサ・マグナの問題点 その歴史と現状（講演）。地質学雑誌，Vol. 82, No. 7, p. 489-492.
- 1976~78 糸魚川淳二・渡辺俊典：瑞浪層群の研究史 その1 明治以前の記録。糸魚川淳二・中村実：その2 明治時代—昭和20年。瑞浪市化石博物館研究報告，No. 3, p. 205-212. No. 5, p. 165-173.
- 1977 今井 功：日本における地質学の発達。「国立科学博物館百年史」，p. 668-682.
- 1977 日本第四紀学会編：「日本の第四紀研究 その発展と現状」。東京大学出版会，415 p.
- 1977 棚井敏雅：Palaeobotany in Japan, Based on the Macrofossils—A Historical Review.「藤岡一男教授退官記念論文集」p. 276-300.
- 1977 関 陽太郎：三波川変成作用の時代論。秀 敬編「三波川帯」，広島大学出版研究会，p. 247-255.
- 1978 稲場明彦：日本貝類学会50年史。貝類学雑誌 Venus, Vol. 37, No. 3（日本貝類学会創立50周年記念号），p. 137-153.
- 1978 糸魚川淳二・赤木三郎：貝石図鑑—江戸時代の化石図鑑—。瑞浪市化石博物館研究報告，No. 5, p. 183-185.
- 1978 土井正民：わが国の19世紀における近代地学思想伝播とその萌芽。広島大学地学研究報告，No. 21, 170 p. 3 図表.
- 1978 小林貞一：Geology and Mineral Resources of Japan, Third Editions, Volume One, 1977, と日本地質誌の歩み。地学雑誌，Vol. 87, No. 5, p. 271-273.
- 1978 小林貞一：新版古生物学の完結と地史学・古生物学書の伝承。地学雑誌，Vol. 87, No. 5, p. 274-275.
- 1978 小林貞一：Japanese Journal of Geology and Geography, Vol. 40, 1970などから Recent Progress of Natural Sciences in Japan, Vol. 3, 1978まで。地学雑誌，Vol. 87, No. 6, p. 368-369.
- 1978 小貫義男：1963年北上巡検の写真からの追想あれこれ。地学研究，Vol. 29, No. 7-9, p. 341-348.
- 1978 小林貞一：硫球諸島と台湾の地質研究の栞。地学雑誌，Vol. 87, No. 4, p. 229-230.
- 1978 木村敏雄：日本の地質学と小藤文次郎。「明治大正の学者たち」，東京大学出版会，p. 131-157.
- 1978 菊地隆男：関東第四紀研究会の生い立ち。関東の四紀，No. 5, p. 45-50.

- 1978 谷本 勉：原田豊吉の日本群島論. 科学史研究(Ⅱ), Vol. 17, No. 127, p. 136-144.
- 1978 渡辺武男：東大資料館収蔵資料(4) 標本に刻まれた地質・鉱物学研究の跡. UP, Vol. 7, No. 9, p. 6-11.
- 1978~82 谷本 勉：ナウマンの日本群島論—「日本群島の構造と生成」(1885)を中心にして—, (Ⅱ)—“grosser Graben” から “Fossa magna” へ—. 科学史研究(Ⅱ), Vol. 17, No. 125, p. 23-30. Vol. 21, No. 143, p. 153-161.
- 1979 後閑文之助：日本の古代より近世に至る地質学と関連学の発達史. 地学雑誌, Vol. 88, No. 2, p. 63-87.
- 1979 小林貞一：東京大学総合研究資料館地史古生物部門所蔵 タイプおよび図示標本目録第1部, 1978, とタイプ標本の保存と目録. 地学雑誌, Vol. 88, No. 1, p. 53-55.
- 1979 小林貞一：The Carboniferous Lexicon of Japan, 1978 と Lexique Stratigraphique International, Japon et Ryukyu, 1956. 地学雑誌, Vol. 88, No. 3, p. 183-190.
- 1979 小林貞一：100万分の1日本地質図第2版と揺籃期の日本地質図史. 地学雑誌, Vol. 88, No. 4, p. 264-271.
- 1979 日本地学史資料調査委員会：本邦における大正期以降の地質学・鉱物学の発達—坪井誠太郎先生を囲む座談会—. 地学雑誌, Vol. 88, No. 3, p. 172-182.
- 1979 [日本応用地質学会] 20周年記念特集号. 応用地質, Vol. 20, No. 4, p. 139-193.
- 1979 大久保雅弘：島根の地質研究史—1—. 山陰文化研究紀要 自然科学編, No. 19, p. 89-104.
- 1979 下間忠夫：私の地学とのふれあいの記. 地質学雑誌, Vol. 85, No. 12, p. 779-786.
- 1979 坪井誠太郎：「岩石学」を紹介する. 学燈, Vol. 76, No. 1, p. 4-7.
- 1979 徳山 明：ナウマンのフォッサマグナへの旅. 地理, Vol. 24, No. 9, p. 57-63.
- 1979 八木健二：「地球科学」との決定的な出会い 忘れ得ぬ青春の日の記録. 月刊地球, Vol. 1, No. 2, p. 158-163.
- 1979 渡辺萬次郎：東北の一角から. 地質学雑誌, Vol. 85, No. 11, p. 699-707.
- 1979 小林貞一：土井正民の我国の19世紀地学史研究とその古今東西. 地学雑誌, Vol. 88, No. 2, p. 122-123.
- 1979 東京教育大学理学部地質学鉱物学教室小史. 「大森昌衛先生の略歴と業績」, 大森昌衛先生還暦記念事業会. p. 58-193.
- 1980 原口九萬：昭和初期の憶い出. 地質学雑誌, Vol. 86, No. 1, p. 47-51.
- 1980 市川 渡：私と地質学会のかかわり. 地質学雑誌, Vol. 86, No. 2, p. 147-152.
- 1980 鎌谷親善：高山甚太郎と工業試験所. 「化学技術研究所八十年史」, p. 327-351.
- 1980 福田 理：賀田貞一と「沖繩宮古八重山紀行」. 地質ニュース, No. 315, p. 18-25.
- 1980 藤井昭二編：「富山県における地学地理学の研究史(富山地学会五十年史)」. 富山大学教養部, 81 p.
- 1980 小林貞一：*Fusulina japonica* GÜMBEL, 1874と日本及び近隣の前生物的研究の黎明. 地学雑誌, Vol. 89, No. 2, p. 124-131.
- 1980 小林貞一：地質学・古生物学上の稀有の古典. 科学技術文献サービス, No. 53, p. 23-25.
- 1980 小林貞一：R. PUMPELLE の渡島地質図から本協会の東亜地質図まで. 地学雑誌, Vol. 89, No. 3, p. 201-205. 肖像巻頭1 p., 図巻頭1 p.
- 1980 松本唯一：憶い出の数々. 地質学雑誌, Vol. 86, No. 6, p. 421-430.
- 1980 永井浩三：矢部長克先生と西南日本中央構造線. 地学研究, Vol. 31, No. 4・6, p. 147-163.
- 1980 立岩 巖：大正年代のわが地質学界裏ばなし点描. 地質学雑誌, Vol. 86, No. 4, p. 293-297.

- 1980 坪井誠太郎 1914—1921年頃の東大地質学教室とその周辺 地質学雑誌, Vol 86, No 9, p 643-645
- 1980 坪井誠太郎・堀 福太郎 (対談) マグマ論の歩み—雑誌‘科学’創刊の思い出にふれつつ—科学, Vol 50, No 12, p 752-758
- 1980 豊田英義 地質学会と私—大学卒業の頃— 地質学雑誌, Vol 86, No 4, p 298-299
- 1980 山田昌一 地質学との出会いて助けられた数々 地質学雑誌, Vol 86, No 3, p 211-213
- 1980 横山次郎 学会紀元25年代の思い出話 地質学雑誌, Vol 86, No 3, p 206-207
- 1980 甲藤次郎 四万十帯化石層序学の最近の進歩 「四万十帯の地質学と古生物学」(甲藤次郎教授還暦記念論文集), p 299-318
- 1981 吉田 尚 東北日本の先新第三紀地体構造について 東北日本の中・古生代造構作用の諸問題, 構造地質研究会誌, No 26, p 3-29
- 1981 鎌谷親善 地質調査所とコルシユルト 化学史研究, No 17, p 19
- 1981 小林貞一 関東の地質誌改訂版と日本地方地質の沿革 地学雑誌, Vol 90, No 4, p 278-282
- 1981 都城秋穂 変貌した日本の科学の質と量—地質学の膨張と水準の上昇— 自然, Vol 36, No 10, p 70-76
- 1981 日本地学史資料調査委員会 本邦における大正期以降の地質学・鉱物学の発達 (第2回)—渡辺万次郎先生を囲む懇談会— 地学雑誌, Vol 90, No 6, p 410-423
- 1981 福田 理・影山邦夫・松井和典 日本石油ことはしめ—その1, その2— 地質ニュース, No 317, p 33-42, No 327, p 6-16
- 1981 杉原重夫・横山秀司 エドムンド・ナウマン著“江戸平原論”について 地学雑誌, Vol 90, No 1, p 25-37
- 1982 地質調査所百年史編集委員会編 「地質調査所百年史」 地質調査所創立100周年記念協賛会, 162 p
- 1982 今井 功・鎌谷親善 創立期の地質調査所 地質ニュース, No 330, p 6-15
- 1982 鎌谷親善 工業試験所の起源—地質調査所の設立に至る過程— 化学史研究, No 19, p 59-80
- 1982 黒田和男 地質調査所における応用地質調査の沿革—ナウマンから応用地質課の設立まで— 地質ニュース, No 337, p 70-88
- 1982 大阪市立自然史博物館 「木村兼葭堂貝石標本」 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録, 第14集, 69 p 6図版
- 1982 山田直利 戦後の地質編さん事業の歩み 地質ニュース, No 337, p 49-56
- 1982 三土知芳・兼子 勝・石和田靖章 昭和の石油・天然ガス調査を語る 地質ニュース, No 338, p 36-42
- 1982 徳永重元 我国の古花粉学 現状と展望—とくに地学に関連して— 地学雑誌, Vol 91, No 5, p 369-377
- 1982 鈴木尉元 地質調査所における石油・天然ガス調査事業の歩み 地質ニュース, No 336, p 20-38
- 1982 市川浩一郎 日本の中古生代放散虫研究史 第1回放散虫研究集会論文集 (JRS 81 Osaka), 大阪微化石研究会誌特別号, No 5, p 1-9
- 1982 甲藤次郎 佐川の自然 佐川町史 上巻, p 1-136
- 1982 地質調査所百年史編集委員会 地質調査所百年史 162 p

- 1982 沖野文吉：日本粘土学会の歩みと将来．粘土科学，Vol. 22，No. 3，p. 91-93.
 1983 渡部景隆：地学の成立と地学教育の将来像私論．地学教育，Vol. 38，No. 2，p. 25-37.
 1983 谷本 勉：ナウマンの日本群島構造論．自然，No. 3，p. 82-89.
 1983 須藤和人・伊古田 恵・朽原義雄・渋谷 紘：秩父地方の地質研究史（Ⅰ）E. ナウマンのことなど．地学教育，No. 163，p. 57-66.

II. 地理・測地・地図

- 1922 陸地測量部：「陸地測量部沿革誌」.
 1934 後閑文之助：江戸時代の地理．「江戸時代の科学」，東京科学博物館編，p. 145-180.
 1948 高木菊三郎：「陸地測量部沿革誌・終末篇」.
 1956 地形営力談話会編：「自然地理学文献目録邦文1940—53」．三省堂，145 p.
 1970 渡辺 光教授退官記念会実行委員会：「現代の地理—その課題と展望」．古今書院，382 p.
 1975 林 猛雄：測量学近代の傾向．明星大学研究紀要，理工学部，No. 11，p. 37-41.
 1975 金沢 敬：国際地図学協会（ICA）の沿革と現状ならびに日本との関係．地図，Vol. 13，No. 2，p. 14-20.
 1975 国松久弥：環境論的経済地理学の発達—1，2，3．金沢経済大学論集，経済地理学説史，Vol. 8，No. 2，p. 1-17. Vol. 9，No. 1，p. 1-21.
 1975 奥野隆史・有末武夫：わが国における交通地理学の50年．地理学研究報告（東京教育大学），No. 19，p. 11-19.
 1975 多田文男：日本における砂丘生成に関する研究史（日本海沿岸の砂丘〈特集〉）．第四紀研究，Vol. 14，No. 4，p. 177-182.
 1975 土屋 巖：気象庁図書館所蔵古地図について（文献・資料紹介）．気象庁図書月報，Vol. 21，No. 9，p. 135-148. Vol. 21，No. 10，p. 159-170.
 1976 長谷川康正・高橋敬一：四等三角測量25年の歩み．国土地理院時報，No. 49，p. 52-65.
 1976 菊地新一：北海道測量史の一側面について—三角測量勇払基点を中心にして．経済論集（大東文化大学経済学会），No. 25，p. 1-18.
 1976 国松久弥：経済地理学説史—5—経済地理学と立地分析—1—．金沢経済大学論集，Vol. 10，No. 1，p. 15-38.
 1976 中川浩一：地理学雑誌の系譜—上・中・下—．地理，Vol. 21，No. 9，p. 90-98. Vol. 21，No. 10，p. 97-104. Vol. 21，No. 11，p. 98-106.
 1976 織田武雄：日本地図の歴史．太陽，No. 160，p. 84-85.
 1976 高橋正義：五万分の一地形図の歩みと展望（五万分の一地形図〈特集〉）．地理，Vol. 21，No. 8，p. 17-25.
 1977 中村英夫：測量の歴史（測量より精密化する世界〈特集〉）．土木学会誌，Vol. 62，No. 5，p. 2-6.
 1977 中西良夫：明治版海図を省みる（添付海図第80号「東京湾口至御前崎」解説）．地図，Vol. 15，No. 4，p. 14-17.
 1977 地理学教室のあゆみ（東京教育大学）．地理学研究報告，No. 21，p. 1-136.
 1977 斉藤敏夫・佐藤 兎・師橋辰夫：明治初期測量史試論—1—，伊能忠敬から近代測量の確立まで—．地図，Vol. 15，No. 3，p. 1-13.
 1977 YAMAMOTO, S.: The Development of Geographical Study of Tokyo Bunrika University (Tokyo University of Literature and Science) and Tokyo Kyoiku University (Tokyo Uni-

- versity of Education). *Sci. Rep. Tokyo Kyoiku Daigaku Sec. C.* Vol. 13, No. 126, p. 9-33.
- 1978 石川地理学会:「石川地理学会五十年史」. 126 p.
- 1978 石山 洋:箕作阮甫の地理学.「箕作阮甫の研究」. 思文閣出版, p. 186-262.
- 1978 大久保武彦:古典の地球科学的解読の試み. 早稲田大学教育学部学術研究生物学・地学編, No. 27, p. 37-51.
- 1978~79 佐藤 侑・師橋辰夫:明治初期測量史試論—伊能忠敬から近代測量の確立まで—2, 3, 4—. 地図, Vol. 16, No. 1, p. 34-40. No. 2, p. 36-40. Vol. 17, No. 2, p. 25-40.
- 1979 地理学史研究会編:「地理学史研究—1・2—」. 臨川書店, 2冊, 昭和32, 37年刊の複製.
- 1979 丸安隆和:測量と共に30年—1~7完—. 測量, Vol. 29, No. 1, p. 34-37. No. 2, p. 25-30. No. 3, p. 23-28. No. 4, p. 19-23. No. 5, p. 22-26. No. 7, p. 22-27. No. 8, p. 21-26.
- 1979 松崎利雄:「江戸時代の測量術」. 総合科学出版, 324+6 p.
- 1979 武田通治:「測量古代から現代まで」. 古今書院, 369 p.
- 1979 田中 薫:IGCの思い出—1~3—. 地理, Vol. 24, No. 7, p. 128-136. No. 8, p. 94-103. No. 10, p. 100-107.
- 1980 「福井県地理学会50年史」. 福井県地理学会, 173 p.
- 1980 海野一隆:地球説伝来以前—日本人の大地像を探る—1, 2—. 自然, Vol. 35, No. 7, p. 80-87. No. 8, p. 63-70.
- 1981 佐藤 侑・師橋辰夫:明治初期測量史試論—伊能忠敬から近代測量の確立まで—7. 地図, Vol. 19, No. 1, p. 31-42.
- 1981 鈴木三郎:航空写真測量の創始期. 測量, Vol. 31, No. 4, p. 47-50.
- 1981 「日本測量協会」創立30周年記念特集号. 測量, Vol. 31, No. 11, p. 11-48, 51-57, 65.
- 1982 特集 地理学を洗う新しいうねり. 科学朝日, Vol. 2, No. 8, p. 108-140.
- 1982 ISHIYAMA, H.: The Yogaku Scholar's Awareness of the Outer World—Japanese World Geography in the Tokugawa Period. *Acta Asiatica; Bull. Inst. Eastern Culture*, No. 42, p. 18-40.
- 1982 愛知教育大学地理学会30年の歩み. 地理学報告, No. 54, p. 3-27.

III. 地震・火山・地球物理

- 1955 久野 久・諏訪 彰:火山物理研究会のおいたち—活火山研究会から火山物理研究会へ—. 火山物理研究会ニュース, No. 1, p. 2-4.
- 1974 速水頌一郎:地球物理学の歩み.「海洋時代」, 東京大学出版会, p. 1-65.
- 1974 WARTNABY, J.: John MILNE and the development of the Seismography. *XIV Intern. Congr. History of Science, Japan. Proc.*, No. 3, p. 109-112.
- 1975 磯部 宏:地震予知の歴史. 予防時代, No. 100, p. 27-33.
- 1975 宇佐美竜夫:「理科年表」地震の部の変遷. 地震(Ⅱ), Vol. 28, No. 2, p. 217-219.
- 1975~76 池上良平:震源位置決定法の変遷から見た地震研究の発展経過について. I. 18世紀後半からの約1世紀間. II. 日本地震学会の期間. 地学教育, Vol. 28, No. 6, p. 191-202. Vol. 29, No. 1, p. 1-13.
- 1977 木村耕三:日本地震学の生い立ち. 太陽, No. 165 (大地震<特集>), p. 85-86.
- 1977 池上良平:地震の震度階の変遷. 地学教育, Vol. 30, No. 2, p. 59-71.
- 1979 地震予知連絡会編:「地震予知連絡会10年のあゆみ」. 建設省国土地理院, 262 p.

- 1979 堀籠秀昌：地震予知連絡会の歩み。季刊防災，No. 59，p. 77-80.
- 1979 宮本一民：地震予知連絡会10年のあゆみ。国土地理院時報，No. 52，p. 6-10.
- 1980 藤井陽一郎：日本の地震学会の百年（学会素描）。季刊 科学と思想，No. 37，p. 163-167.
- 1980 諏訪 彰：1965～79年の本邦火山活動と観測・研究の発展。地学雑誌，Vol. 89，No. 4，p. 247-255.
- 1980 小野吉彦：物理探鉱技術協会小史。物理探鉱，Vol. 33，No. 1，p. 3-9.
- 1981 諏訪 彰：研究の思い出。地震（Ⅱ），Vol. 34，特別号.
- 1981 浜松音蔵：地震観測史。地震（Ⅱ），Vol. 34，特別号，p. 73-92.
- 1981 力武常次：指嵐車から惑星探査機へ。地球磁気学の歩み。UP，Vol. 10，No. 11，p. 16-19.
- 1981 力武常次・本蔵義守：地球電磁気学の最近の発展。日本物理学会誌，Vol. 35，No. 5，p. 340-347.
- 1981 池上良平：大森地震学の残したもの—2～3—地震の初期微動に関する研究。地学教育，Vol. 34，No. 4，p. 95-106.
- 1981 檀原 毅：静岡大学地殻活動観測所の概要。静岡大学地球科学研究報告，No. 6，p. 25-34.
- 1981 瀬野徹三：深発地震面一二重構造の発見とその後—。科学，Vol. 51，No. 8，p. 479-480.
- 1981 〔日本地熱調査会〕創立二十周年記念特集。地熱，Vol. 18，No. 2，p. 79-123.
- 1981 茂木清夫他：日本の地震学百年の歩み。地震，Vol. 34，207 p.
- 1981 測地学審議会：地球物理学の展望と課題。学術月報，Vol. 34，No. 7，p. 535-550.
- 1981 茂木清夫他：日本の地震学百年の歩み。地震，Vol. 34，特別号，p. 1-207，巻頭 p. 1-2.
- 1982 池上良平：地震計に関する MILNE と EWING の論争。地学教育，Vol. 35，No. 4，p. 115-122.
- 1982 池上良平：大森地震の残したもの VI，津波の研究。地学教育，Vol. 35，No. 5，p. 145-152.
- 1982 水上 武：浅間山について。学会会報，No. 757，p. 42-47.
- 1982 萩原尊礼：「地震学百年」。UP 選書，東京大学出版会，233 p.
- 1982 諏訪 彰：日本の火山活動—戦後36年の記録。科学と実験，別冊写真集，112 p.
- 1982 小野吉彦：物理探査技術の発展と将来への展望。地質ニュース，No. 337，p. 123-130.
- 1982 山崎晴雄：地質調査所における地震災害及び火山調査の変遷。地質ニュース，No. 339，p. 19-25.
- 1983 今道周一：柿岡地磁気観測所の70年。自然，No. 2，p. 71-77.
- 1983 池上良平：大森地震学の残したもの VII，火山の研究（その1）。地学教育，No. 163，p. 39-49.

IV. 気 象

- 1947 神田 茂：「日本の天文気象資料」。あしかび書房，160 p.
- 1956 日本気象学会編：「季節予報文献目録」。謄写版.
- 1973 具志幸孝：琉球の気象史—2，3—。測候時報，Vol. 40，No. 1，p. 13-28. Vol. 40，No. 2，p. 49-77.
- 1973 旭川地方気象台の創立から現在までの位置の変遷。測候時報，Vol. 40，No. 5，p. 218-228.
- 1974 片桐清之：気象庁全国海況旬報1000号の歴史。測候時報，Vol. 41，No. 10，p. 318-321.
- 1975 鈴木新一：気象百年の歩み。トランスポート，Vol. 25，No. 6，p. 21-26.
- 1976 板倉吉直：気象百年史資料目録。測候時報，Vol. 42，No. 12，p. 397-422.
- 1976 串崎利兵衛他：札幌気象百年史 1876—1976。測候時報，Vol. 43，No. 3-5，p. 81-170.

- 1976 根本順吉：気象学会事始。天気，Vol. 23, No. 4, p. 177-182.
- 1976 日本気象協会25年史編さん委員会編：「日本気象協会25年史」。162 p.
- 1976 吉野正敏：気象学—その日本の100年—(最近の気象学と気象事業の展望—気象庁創立百年を記念して—特集)。気象研究ノート，No. 128, p. 156-163.
- 1977 気象庁気象研究所：「気象研究所三十年史」。気象研究所，160 p. 肖像。
- 1977 気象庁図書資料管理室編：気象百年史人名索引。気象庁図書月報，Vol. 23, No. 2, 3, p. 17-63.
- 1977 盛岡地方気象台：岩手山測候所沿革誌。測候時報，Vol. 44, No. 1, p. 27-42.
- 1978 気象庁図書資料管理室編：気象百年史(資料編)人名索引。気象庁図書月報，Vol. 24, No. 1, 2, p. 1-44. [付事項索引 p. 45-48].
- 1978 高層気象台編：「高層気象台五十年誌」。高層気象台(茨城県谷田部町)，47 p.
- 1978 長崎海洋気象台編：「長崎海洋気象台100年のあゆみ」。長崎海洋気象台，252 p.
- 1981 石巻気象百年史。石巻測候所(石巻)，139 p.
- 1981 京都気象台編：「京都気象百年」。京都地方気象台創立100周年記念誌，日本気象協会関西支部(大阪)，256 p.
- 1981 岐阜地方気象台編：「創立百年誌」。岐阜気象台(岐阜)，195 p.
- 1981 田村専之助：「日本気象学史研究—下—」。三島科学史研究所，東洋気象学史論叢，No. 3, 956 p.
- 1981 新潟地方気象台編：「創立百年誌」。新潟地方気象台，160 p.
- 1982 広田 勇：大気大循環論100年の歩み。天気，Vol. 29, No. 3, p. 199-213.
- 1982 日本気象学会100年史。天気，Vol. 29, No. 4, p. 299-334.
- 1982 山本龍三郎：気象学の発展。天気，Vol. 29, No. 6, p. 587-593.

V. 陸水・地球化学

- 1964 大津臨湖実験所50周年記念事業実行委員会：「大津臨湖実験所五十年その歴史と現状」。京都大学理学部附属大津臨湖実験所，49 p.
- 1965 柴田雄次・長倉三郎・松井義人：分光化学と地球化学の夜明け(対談)。科学，Vol. 35, No. 3, p. 133-139.
- 1975 松尾禎士・山崎一雄：日本の地球化学の一断面。地球化学，No. 9, p. 1-4.
- 1975 田中 実：「日本の化学と柴田雄次」。大日本図書，379+17 p. 第13章地球化学のはじまり。
- 1977 菅原国香：明治初期の分析化学 1870年代，1880年代。ぶんせき，1977年，No. 2, p. 114-118. No. 3, p. 174-177.
- 1977 上野益三：「陸水学史」。培風館，367 p.
- 1978 北野 康：地球化学。「日本の化学百年史—化学と化学工業の歩み」，東京化学同人，p. 412-424.
- 1980 HANYA, T., AKAI, T., OGURA, N. and TEZUKA, Y. (eds.): Recent Progress of Limnology in Japan. *Recent Progress of Natural Sciences in Japan*, Vol. 5, p. 153-252.
- 1980 松尾禎士：地球化学ことはじめ。化学の領域，Vol. 34, No. 8 (特集柴田雄次先生と日本の化学)，p. 598-600.
- 1981 菅原 健：柴田雄次先生と日本の地球化学の歩み。地球化学，Vol. 14, No. 2, p. 43-61.
- 1981 安藤 厚：地質調査所とぶんせき。ぶんせき，1981年，No. 4, p. 261-265.
- 1982 安藤 厚：地質調査所における化学分析の歩み100年。地質ニュース，No. 337, p. 140-145.
- 1982 地球化学課：地質調査所における地球化学研究の歴史と展望。地質ニュース，No. 337, p.

146-152.

VI. 海 洋

- 1974 KAWAKAMI, K.: 100-year history of the Hydrographic office of Japan. *XIV Intern. Congr. History of Science, Japan, Proc.* No. 3, p. 225-226.
- 1978 東京大学海洋研究所編:「東京大学海洋研究所15年史 1962~1977」. 東京大学海洋研究所, 219 p.
- 1978 宇田道隆: 前線論的に見た黒潮研究の歴史的発展と将来の問題. 号外海洋科学, Vol. 1, No. 2, p. 198-209.
- 1978 宇田道隆:「海洋研究発達史」. 東海大学出版会<海洋科学基礎講座補巻>, 331 p.
- 1979 半沢正男: チャレンジャー号と日本 英海洋学者のみた100年前のわが国. 蟻塔, Vol. 25, No. 6, p. 5-8.
- 1979 宇田道隆: 海底地球物理学の発展と寺田寅彦の貢献. 月刊地球, Vol. 1, No. 2, p. 87-90.
- 1981 海上保安庁水路部測量課: 測量業務10年間の回顧. 水路要報, No. 142, p. 51-74.
- 1981 海上保安庁水路部測量課: 水路部100~110年における海図の歩み. 水路要報, No. 102, p. 121-137.
- 1981 富永政英: 日仏海洋学会20年の歩み. うみ, 創立20周年記念特別号, p. 1-4.
- 1981 海上保安庁水路部海象課: 海象業務最近10年の歩み. 水路要報, No. 102, p. 75-92.
- 1981 海上保安庁水路部海洋研究室: 海洋研究室の10年間の推移 (水路部創立110周年記念号). 水路要報, No. 102, p. 165-167.
- 1981 海洋科学技術センター十年史. 海洋科学技術センター (横須賀), 248 p.
- 1981 富永政英: 日仏海洋学会20年の歩み (日本海洋学会創立20周年記念特別号). うみ, 特別号, p. 1-4.
- 1981 二谷頼男: 海流通報 (再開) 20年の歩み. 水路要報, No. 101, p. 89-103.
- 1981 日本における海洋学最近10年の歩み. 日本海洋学会誌, Vol. 37, No. 6, p. 301-405.
- 1982 磯野直秀・磯野裕子: 三崎臨海実験所創設のころ. 自然, Vol. 37, No. 3, p. 68-75.
- 1982 水野篤行: 地質調査所における海洋地質研究の歴史と現況. 地質ニュース, No. 337, p. 57-69.

VII. 鉱業・鉱山

- 1914 日本石油株式会社調査課編:「日本石油史」. 同社, 678 p. 図版45枚.
- 1924 北海道石炭鉱業会編:「北海道鉱業誌」. 同会, 554 p.
- 1947 佐野秀之助: 昔の炭坑と今の炭坑. 地球の科学, Vol. 2, No. 3, p. 1-7.
- 1957 フランシスク・コワニエ著, 石川準吉訳ならびに解説:「日本鉱物資源に関する覚書—生野銀山建設記—」. 産業経済新聞社, 186 p.
- 1973 村上安正: 足尾鉱山史概説—銅山発見から閉山まで—1~3—. 西日本文化, No. 92, p. 15-18. No. 93, p. 23-25. No. 95, p. 34-38.
- 1973 木下亀城: 薩摩藩のお雇い外国人鉱山技師. 地学研究, Vol. 24, No. 1-6, p. 3-8.
- 1974 同和鉱業編:「同和鉱業90年の歩み」. 45 p.
- 1975 三井金属鉱業株式会社修史委員会事務局編:「神岡鉱山写真史」. 三井金属鉱業, 281 p.
- 1975 小葉田 淳: 伊勢治田銀銅山史の研究. 史林, Vol. 58, No. 2, p. 153-212.
- 1975 小葉田 淳: 芹ヶ野金山史の研究 串木野鉱山の前史. 三井金属修史論篇, No. 9, p. 1-44.

- 1976 第四海軍燃料廠編：「海軍炭鉱五十年史」．文献出版，364 p. 図19枚〔昭和18年刊の複製〕．
- 1976 葉賀七三男：日本鉱業会と金属産業の歩み．金属，Vol. 46, No. 5, p. 57-62.
- 1976 畠山秀樹：住友別子銅山の近代化過程（高田 馨博士還暦記念論文集）．大阪大学経済，Vol. 26, No. 1, 2, p. 249-301.
- 1976 武藤矩靖：見立鉱山物語．地学研究，Vol. 27, No. 10, 12, p. 385-401, 表1枚．
- 1976 日本経済史研究所編：「古河鉱業創業100年史」．古河鉱業，768 p.
- 1976 岡田広吉：砂子渡鉄鉱山に関する研究．地学研究，Vol. 27, No. 10-12, p. 323-339.
- 1976 小野 強：「北越石油業発展史」．文献出版，340+19 p. 〔明治42年鉱報社刊の複製〕．
- 1976 四宮俊之：明治初期三池鉱山の近代化過程—官営時代の経営活動について．経営論集，Vol. 24, No. 2, p. 111-137.
- 1977 秀村選三他校註：「明治前期肥前石炭礦業史料集」．文献出版，533+9 p.
- 1977 宮久三千年：尾平鉱山史話．地学研究，Vol. 28, No. 1-3, p. 75-98, 図2枚．
- 1977 日本社史全集刊行会編：「大協石油三十年史」．常盤書院，146 p. <日本社史全集>〔昭和44年刊の複製〕．
- 1977 佐々木正男：明治前期に活躍したフランス鉱業家たち—生野・別子・山ヶ野鉱山の場合．史叢，20輯，p. 2-31.
- 1977 山本 博・宮城一男：佐々木元俊「地学全書」の研究—“津軽蘭学史”の一端として．文化紀要，No. 11, p. 123-158.
- 1977 山崎俊雄：観光史跡・生野銀山（技術史散歩—98—）．技術と経済，No. 120, p. 184-187.
- 1977 山崎俊雄：別子銅山記念館（技術史散歩—99—）．技術と経済，No. 121, p. 173-175.
- 1977 全国炭鉱技術会編：「全国炭鉱技術会30年の歩み」．同会，102 p.
- 1978 科学技術庁資源調査会三十年史編集委員会編：「資源調査会三十年史」．資源協会，208 p.
- 1978 宮久三千年：馬上・鯛生両金山小史—上・下—．地学，Vol. 29, No. 4, 6, p. 129-140. No. 7, 9, p. 241-258.
- 1978 中尾 鎭：たたら製鉄の歴史的研究—1—鉱山の成立と集積過程．島根医科大学紀要，Vol. 1, p. 31-35.
- 1978 東北鉱業会：「東北鉱業会三十年史」．東北鉱業会（仙台），122 p. 非売．
- 1979 麻生欣次郎：日本の鉱業及び金属製錬業の展望—日本工業会創立100周年によせて．日本鉱業会誌，Vol. 95, No. 1100, p. 711-714.
- 1979 飯田賢一：「日本鉄鋼技術史」．東洋経済新報社，466, 8 p.
- 1979 村上安正：鉱業史研究の盲点とその克服—最近の経験から．日本鉱業史研究，No. 2, p. 1-2.
- 1979 織田元泰・中村羊一郎：近世における梅ヶ島金山略史．昭和54年度日本鉱業史研究会梅ヶ島研究発表会特集号，日本鉱業史研究，No. 3, p. 1-2.
- 1979 斉藤実則：秋田県小坂周辺地域における鉱山開発史．日本鉱業史研究，No. 3, p. 5-6.
- 1979~81 土井正民：19世紀後半の“ゴールドラッシュ”とわが国の砂金採取（1），（2）—北海道—．日本鉱業史研究会京都大会，p. 28-31. 札幌大会，p. 5-9.
- 1980 土井正民：渡辺 渡のフライベルグ鉱山学校に於ける成績表．日本鉱業史研究，No. 4, p. 2-4.
- 1980 土井正民：金鉱業整備1943年（昭和18年）．日本鉱業史研究会，東京大会，p. 10-12.
- 1980 原田種成：創立35年を迎えた九州出張所—九州鉱業界の昨今について．地質ニュース，No. 305, p. 40-45.
- 1980 八幡製鉄所史編さん実行委員会編：「八幡製鉄所八十年史」．新日本製鉄八幡製鉄所，4冊．

- 1981 福田 理・影山邦夫・松井和典：日本石油ことはじめ—その1，2—。地質ニュース，No. 317，p. 33-42. No. 327，p. 6-16.
- 1981 伊賀秀雄：日本地熱調査20周年略史。地熱，Vol. 18，No. 2，p. 85-91.
- 1982 飯塚一雄：越後のくそうず。日立，Vol. 44，No. 11，p. 13-15.

VIII. 海外関係

- 1929 HAYASAKA, I.: The Present Status of the Geological Researches in Formosa. *Proc. 4th Pacific Science Congress, Java*.
- 1939 E・フォン・アーネルト著，南満洲鉄道株式会社北満経済調査会編訳：「満洲の探検と鉱業の歴史」。学芸社，興亜書院，571 p. 図版21枚.
- 1942 翁 文影述，赤堀英三訳：地質学。「支那文化論叢」（石田幹之助監訳），p. 229-253.
- 1942 グレーボー述，赤堀英三訳：古生物学。「支那文化論叢」（石田幹之助監訳），p. 255-272.
- 1943 高橋英太郎：明治年間朝鮮地質年表。地学，Vol. 19，No. 1，p. 42-49.
- 1943 橋本 亘：「比島地学文献集，比律賓群島燃料鉱物の地質」。182 p. 付録44 p.
- 1949 坂本峻雄：満洲の地質 己住の調査とその成果。地球の科学，Vol. 4，No. 2，p. 7-19.
- 1967 小林貞一：東南アジア地史・古生物の研究。地学雑誌，Vol. 76，No. 4，p. 179-190.
- 1969 HASHIMOTO, W.: Paleontology of the Philippines. *Geology and Palaeontology of Southeast Asia*, Vol. 6，p. 293-329.
- 1969 野田勢次郎・小林貞一・松下久道：南支那・中支那の地質調査 対話。地学雑誌，Vol. 78，No. 3，p. 190-195.
- 1976 「祈念台湾光復三十周年台湾地質構造論論文集」。台湾省地質調査所彙，No. 25，166 p.
- 1976 前田四郎：アンデスの地質を開拓した人びと。地学研究，Vol. 27，No. 1-3，p. 19-23.
- 1976 REEDMAN, A. J. and UM, S.: The Geology of Korea, An Account of the Geological Development of the Republic of Korea. *Geological and Mineral Institution of Korea (Seoul)*.
- 1977 小林貞一：朝鮮地史の今昔（前篇），（後篇）。地学雑誌，Vol. 86，No. 2，p. 121-134. No. 3，p. 191-207.
- 1977 南極観測20年の歩みと今後の諸問題。学術月報，Vol. 30，No. 1，p. 8-40.
- 1978 HAMADA, T., HASHIMOTO, W. and AOKI, N.: Overseas Palaeontological Research Projects in Southeast Asia. *Recent Progress of Natural Science in Japan*, Vol. 3，p. 109-136.
- 1978 小林貞一：中華人民共和国に於ける最近の生層位学，古生物的研究。地学雑誌，Vol. 87，No. 4，p. 227-228.
- 1978 清水大吉郎：古典に見る東洋の古生物観。地球科学，Vol. 32，No. 4，p. 210-215.
- 1979 小林貞一：1978年秋の東南アジア地質に関する2つの国際会議。地学雑誌，Vol. 88，No. 4，p. 260-263.
- 1980 赤木 健：満洲間島に於ける金山調査の思い出。地質学雑誌，Vol. 86，No. 3，p. 208-210.
- 1980 KOBAYASHI, T.: Opening Address to the GPSEA Symposium, Tsukuba, 1978. *Geology and Palaeontology of Southeast Asia*, Vol. 21，p. x-xi.
- 1981 陳 瑞平著・張 麗旭訳注：中国古代の海陸変遷に関する認識。地学雑誌，Vol. 90，No. 5，p. 352-354.
- 1981 東南アジア古生物研究会：「東南アジア古生物の研究」についての記録（その3）。地学雑誌，Vol. 90，No. 4，p. 262-277.

- 1981 王 及樸 (地理編集部訳): 中国における地形学の30年. 地理, Vol. 26, No. 3, p. 15-22.
1981 趙 松喬 (青木千枝子訳): 中国における自然地理学の30年. 地理, Vol. 26, No. 3, p. 23-29.
1983 小林貞一: 中国の地学教育と地質学史, 地学関係雑誌. 地学教育, No. 163, p. 51-56.

IX. 地学教育・地学全般

- 1959 近代日本教育制度史料編 会編: 「近代日本教育制度史料第35巻」. 講談社, 227. 455 p. 総索引, 明治以降教育制度年表.
1969 木村治郎: 輝くいばらの道. 「ともに学ぶよろこび」, 築地書館, p. 128-137.
1971 地学教育の将来像を求めて一箱根における地学教育懇談会記録一. 地学教育, Vol. 24, No. 5, p. 118-151.
1973 小林貞一: 国立国会図書館「国立国会図書館所蔵 明治期刊行図書目録」. 地学雑誌, Vol. 82, No. 4, p. 220.
1975 貝山久子: 女子教育と地理 お茶の水女子大学における100年. 地理, Vol. 20, No. 5, p. 22-30.
1976 斎藤晃吉: 「日本海学会」の創設について. 日本海文化 (金沢大学), No. 3, p. 53-55.
1976 藤田至則: 地学団体研究会の足跡. 日本の科学者, Vol. 11, No. 9, p. 447-452.
1977 小林 学: 高等学校地学の変遷とその総合化. 地学教育, Vol. 30, p. 73-82.
1977 石山 洋: 東京地学協会日本地学史資料調査委員会. 科学史研究 (II), Vol. 16, No. 123, p. 190.
1977 日本地学史資料調査委員会: 日本地学史文献集附海外関係文献. 地学雑誌, Vol. 85, No. 6, p. 354-379.
1978 地学団体研究会: 「みんなで科学を一地団研30年のあゆみ」. 大月書店, 249 p.
1978 日本地学史資料調査委員会: 日本地学欧文文献集 (明治45年 大正元年まで). 地学雑誌, Vol. 87, No. 5, p. 276-305.
1979 井上雅夫: 理科教育と科学技術史 中国科学普及書に学ぶ. 岩手大学教育学部研究年報, Vol. 39, p. 313-324.
1979 小林貞一: 地学教育刷新の五年史. 地学教育, Vol. 32, No. 4, p. 137-146. No. 5, p. 161-168. No. 6, p. 197-210.
1979 牧野 融: 地学教育30年. 岩波講座地球科学月報, No. 8, p. 8-10.
1979 日本地学史資料調査委員会: 明治前日本地学文献集. 地学雑誌, Vol. 88, No. 5, p. 338-352.
1980 小林貞一: 四種の地学雑誌と地学会と会誌の草昧期. 地学雑誌, Vol. 89, No. 6, p. 361-371.
1980 東京地学協会100年編年史 (抄). 地学雑誌, Vol. 89, No. 1, p. 78-83.
1980 特集80年代における地球科学の展望. 日本の科学者, Vol. 15, No. 9, p. 460-480.
1980 保柳睦美: 東京地学協会100年の歩み (創立100周年記念公開講演). 地学雑誌, Vol. 89, No. 1, p. 71-74.
1981 小林貞一: 郷土の地学と趣味の地学. 地学教育, Vol. 34, No. 2, p. 53-55. No. 3, p. 87-93.
1981 小林貞一・今井 功・石山 洋: 日本地学史資料調査委員会—10年の歩み—. 地学雑誌, Vol. 90, No. 4, p. 283-284.
1982 小林貞一: 旧制高等学校とその地質鉱物学担当教授. 地学教育, Vol. 35, No. 2, p. 89-94.
1982 関 利一郎: 地学教育の発達小史. 「地学教育の新しい展開」, 東洋館出版, p. 1-28.
1982 宗田克己: 旧制高校と地質学鉱物学教室. 地学教育, Vol. 35, No. 2, p. 179-185.

- 1982 小林貞一：日本自然科学集報 第6巻とその第1—5巻. 地学雑誌, Vol. 91, No. 2, p. 127.
 1983 日本地学教育学会年表. 地学教育, No. 163, p. 104-119.

X. 地学史一般

(1)

- 1875 GEIKIE, A.: *Life of Sir Roderick I. MURCHISON*. John Murray, London.
 1895 BONNEY: *Charles LYELL and Modern Geology*. Cassell and Co., London.
 1897 GEIKIE, A.: *The Founders of Geology*. Macmillan and Co., London, 279 p. 第2版 (1905), 486 p. 第2版復刻本 (1962), Dover Pub. Inc., New York, 486 p.
 1899 ZITTEL, K. A.: *Geschichte der Geologie und Paläontologie bis Ende des 19 Jahrhunderts*. R. Oldenbawrg, München, 868 p. 英訳本 (1901), *History of Geology and Palaeontology to the End of the Nineteenth Century*. Translated by M. M. OGILVIE-GORDON, Walter Scott, London, 562 p. 英訳本復刻 (1962), Wheldon & Wesley Ltd. and Hafner Pub. Co. 562 p.
 1906 MERRILL, G. P.: Contributions to the History of American Geology. *Rep. U. S. Nat. Mus. for 1904*, p. 189-734.
 1907 WOODWARD, H. B.: *The History of the Geological Society of London*. London Geological Society.
 1909 GEIKIE, A.: *Charles DARWIN as Geologist*. Cambridge Univ. Press.
 1911 WOODWARD, H. B.: *History of Geology*. G. P. Putnam's Sons. 復刻本 (1978), AMS Press, New York, 204 p.
 1924 MERRILL, G. P.: *The First One Hundred Years of American Geology*. Yale Univ. Press. 復刻本 (1964, 1969), Hafner Pub. Co. Inc., New York, 773 p.
 1925 HUMMEL, K.: *Geschichte der Geologie*.
 1925 WILMARITE, M. G.: The Geological Time Classification of the United States Geological Survey Compared with Other Classifications. *U. S. Geol. Surv. Bull.* 769, p. 1-138. Göschen Sammlung.
 1936 LOEWINSON-LESSING, F. Y.: *Vvedenie v Istriu Petrografii*. 英訳本 (1954) *A Historical Survey of Petrology*. Translated by TOMKEIEFF, S. I., Oliver & Boyd, London, 112 p.
 1937 FLETT, J. S.: *The First Hundred Years of the Geological Survey of Great Britain*. His Majesty's Stationary Office.
 1938 ADAMS, F. D.: *The Birth and Development of the Geological Sciences*. Pan American and International Copyright Conventions. 復刻本 (1954), Dover Pub. Inc., New York, 506 p.
 1939 MATHER, K. F. and MASON, S. L.: *A Source Book in Geology*. Harvard Univ. Press, 702 p. 復刻本 (1964), Hafner Pub. Co., 702 p.
 1945 FENTON, C. L. and FENTON, M. A.: *Giants of Geology*. Doubleday & Co. Inc., New York, 333 p.
 1954 BERRINGER, C. C.: *Geschichte der Geologie und des Geologischen Weltbildes*. Fernand Enke Verlag, Stuttgart, 159 p.
 1963 BAILEY, E.: *Charles LYELL*. Doubleday & Co. Inc., New York, 214 p.
 1963 WELLS, J. W.: Early Investigation of the Devonian System in New York, 1656-1836.

- Geol. Soc. America, Special Paper* 74, 74 p.
- 1965 NORTH, F. J.: *Sir Charles LYELL*. Arthur Barker Ltd, London, 128 p.
- 1967 BAILEY, E. B.: *James HUTTON—the Founder of Modern Geology*. Elsevier Pub. Co. Ltd. 161 p.
- 1967 MATHER, K. F. ed.: *Source Book in Geology 1900—1950*. Harvard Univ. Press, 435 p.
- 1968 DAVIES, G. L.: *The Earth in Decay—A History of British Geomorphology 1578—1878*. Macdonald Technical and Scientific, London, 390 p.
- 1969 SCHNEER, C. J. ed.: *Toward a History of Geology*. M. I. T. Press, 469 p.
- 1970 HOOYKAAS, R.: *Catastrophism in Geology, its scientific character in relation to actualism and uniformitarianism*. North-Holland Pub. Co., 50 p.
- 1971 CHALLINOR, J.: *The History of British Geology—A Bibliographical Study—*. David & Charles, Newton Abbot, 224 p.
- 1973 MARVIN, U. B.: *Continental Drift—The Evolution of a Concept*. Smithsonian Institution Press, 239 p.
- 1973 SCHMIDT, W.: Marburg und die Paläontologie. *Geologica et Palaeontologica*, 7, s. 1-25.
- 1975 HOWARD, R. W.: *The Dawnseekers—The First History of American Paleontology—*. Harcourt Brace Jovanovich, 314 p.
- 1975 ZASLOW, M.: *Reading the Rocks—The Story of the Geological Survey of Canada 1842—1972*. Macmillan Co. 599 p.
- 1977 PORTER, R.: *The Making of Geology—Earth Science in Britain 1660—1815*. Cambridge Univ. Press, 288 p.
- 1977 SHROCK, R. R.: *Geology at M. I. T. 1865—1965*. MIT Press, 1032 p.
- 1977 KHAIN, V. YE.: Sixty Years of Soviet Geotectonics. *Geotectonics (Eng. edition)*, Vol. 11, No. 5, p. 326-333.
- 1979 KUPSCH, W. O. and SARJEANT, W. A. S. eds.: History of Concepts in Precambrian Geology. *Geol. Ass. Canada, Special Paper* 19, 292 p.
- 1979 SCHNEER, C. J. ed.: *Two Hundred Years of Geology in America*. Univ. Press of New England, 385 p.
- 1979 RABBITT, M. C.: *A Brief History of the U. S. Geological Survey*. U. S. Geological Survey, 48 p.
- 1979 MILNES, A. G.: Albert HEIM's General Theory of Natural Rock Deformation (1878). *Geology*, Vol. 7, p. 99-103.
- 1980 SARJEANT, W. A. S.: *Geologists and the History of Geology, An International Bibliography from the Origins to 1978*. Macmillan Press, London, 5 vols., 4322 p.
- 1981 TOLLMANN, A. und TOLLMANN, E. K. (Schriftleiter): Eduard SUESS-Gedenkband zum 150. Geburtstag. *Mitt. Österr. Geol. Ges.*, 74/75 Bd., 81 p.
- 1982 GREENE, M. T.: *Geology in the Nineteenth Century*. Cornell Univ. Press, 324 p.
- 1982 CELAL SENGÖR, A. M.: Eduard SUESS' Relations to the Pre-1950 Schools of Thought in Global Tectonics. *Geologische Rundschau*, Bd. 71, Heft 2, p. 381-420.

地学史一般

(2)

- 1931 津屋弘達：「火山現象論略史」．岩波講座，〔別項〕，p. 13-23.
- 1933 小川琢治・笹倉正夫：「地質学史（一）」．岩波講座，〔地質・古生物〕，54 p.
- 1934 小川琢治・笹倉正夫：「地質学史（二）」．岩波講座，〔地質・古生物〕，55-110 p.
- 1946~47 松下 進：欧米地質学者列伝(1)，(2)，サー・アーチボルド・ゲイキー．鉱物と地質，Vol. 1, No. 1, p. 31-35. No. 2, p. 75-80.
- 1947 小林貞一：地質時代が組立てられる迄．採集と飼育，Vol. 9, Nos. 6-7, p. 128-130.
- 1947~48 松下 進：欧米地質学者列伝(3)，(4)，ジェームス・ドワイト・デイナ．鉱物と地質，Vol. 1, No. 3, p. 131-135. Vol. 2, No. 1, p. 30-34.
- 1948 牛来正夫：「火成岩成因論史」．地団研専報，No. 2.
- 1948 鹿間時夫：欧米地質学史(1)，鉱物と地質，8集，p. 58-62.
- 1949~50 鹿間時夫：「古生物譚」．日本鉱物趣味の会，前編228 p.，後編276 p.
- 1953 小林英夫：「地質学史」．民科地団研，“地学叢書” 4.
- 1954 小林英夫・岡 邦雄：地学史．科学史大系Ⅷ，中教出版，p. 1-220.
- 1955 小林英夫：セルゲ・フォン・ブプノフ．地球科学，No. 20, p. 39-40.
- 1955 八木健三：N. L. BOWEN—その人と学説．地球科学，No. 24, p. 43-44.
- 1955 渡辺武男：ESKOLA 教授．地球科学，No. 25, p. 47-48.
- 1957 浅野 清：地向斜論の史的展開—裏日本地向斜論の序説—．有孔虫，No. 7, 特集(3)，p. 3-22.
- 1957 市川浩一郎：古生物分類学の父—チッテル．地球科学，No. 35, p. 32-39.
- 1959 山下 昇：地質家列伝—1 ソーシュール．地球科学，No. 43, p. i.
- 1959 山下 昇：1859年前後．地球科学，No. 45, p. i-ii.
- 1960 山下 昇：地質家列伝—3 エリード・ボーモン．地球科学，No. 46, p. i-ii.
- 1960 山下 昇：地質家列伝—4 デーナ．地球科学，No. 48, p. i.
- 1960 山下 昇：地質家列伝—5 ベルトラン．地球科学，No. 49, p. i-ii.
- 1960 都城秋穂：地質家列伝—6 ゴールドシュミット．地球科学，No. 52, p. i-ii.
- 1961 都城秋穂：エスコラ．地球科学，No. 53, p. i-ii.
- 1961 都城秋穂：コルジンスキー．地球科学，No. 54, p. i-ii.
- 1961 都城秋穂：ツィルケル．地球科学，No. 55, p. 34.
- 1961 都城秋穂：ローゼンブッシュ．地球科学，No. 57, p. i-ii.
- 1962 桑野幸夫：シャトスキー．地球科学，No. 58, p. i-ii.
- 1962 桑野幸夫：ヴェルナドスキー．地球科学，No. 59, p. i-ii.
- 1962 山下 昇：地質家列伝 ハイム．地球科学，No. 63, p. i-ii.
- 1963 青木 斌・渡辺岩井：花崗岩成因論の最近の動向．地質学雑誌，Vol. 69, No. 818, p. 502-518.
- 1963 桑野幸夫：地質家列伝 アルハンゲリスキー．地球科学，No. 64, p. i-ii.
- 1963 桑野幸夫：地質家列伝 アルハンゲリスキー（その2）．地球科学，No. 66, p. i-ii.
- 1963 山下 昇：地質家列伝 シュティレ．地球科学，No. 67, p. i-ii.
- 1963 山下 昇：地質家列伝—15 ジュース．地球科学，No. 68, p. 38.
- 1963 都城秋穂：地質家列伝—16 フォークト．地球科学，No. 69, p. i-ii.
- 1963 木崎甲子郎：花崗岩成因論の史的背景 I，II．地球科学，No. 68, p. 29-35. No. 69, p. 30-38.

- 1964 都城秋穂：地質家列伝—17 ハーカー. 地球科学, No. 70, p. i-ii.
- 1964 都城秋穂：地質家列伝—18 デイリー. 地球科学, No. 72, p. i-ii.
- 1964 山下 昇：地質家列伝—19 テルミエ. 地球科学, No. 73, p. i-ii.
- 1964 大町北一郎：地質家列伝—20 モース. 地球科学, No. 75, p. i.
- 1965 大町北一郎：地質家列伝—21 ブライハウプト. 地球科学, No. 76, p. i.
- 1965 大町北一郎：地質家列伝—22 コッタ. 地球科学, No. 78, p. i-ii.
- 1965 大町北一郎：地質家列伝—23 ステルツナー. 地球科学, No. 79, p. i.
- 1965 大町北一郎：地質家列伝—24 ベック. 地球科学, No. 80, p. i.
- 1965 大町北一郎：地質家列伝—25 カールステン. 地球科学, No. 81, p. i.
- 1965 日本科学史学会編：「地球宇宙科学」. 日本科学技術史大系, Vol. 14, 第一法規出版, 661 p.
- 1967 岸本文雄：アナトリー・ゲオルギエビッチ・ベチーフチン（その1）,（その2）. 地球科学, Vol. 21, No. 3, p. ii-iii. No. 5, p. ii-iii.
- 1967 山下 昇：「地球科学入門—その歴史と現状—」. 国土社, 219 p.
- 1971 木村敏雄：地向斜の概念. 鉱床形成の場の基礎的諸問題, 第1編, 日本鉱山地質学会特別号, 第4号, p. 1-16.
- 1971 松田時彦：造山帯に関する最近の考え方. 鉱床形成の場の基礎的諸問題, 第1編, 日本鉱山地質学会特別号, 第4号, p. 17-31.
- 1971 上田誠也：海洋底拡大説. 鉱床形成の場の基礎的諸問題, 第1編, 日本鉱山地質学会特別号, 第4号, p. 151-166.
- 1974—75 牛来正夫：火成論の40年—BOWEN 学説との闘い—（その1）,（その2）. 地球科学, Vol. 28, No. 6, p. 252-256. Vol. 29, No. 1, p. 55-59.
- 1975 小林英夫：ゼーダーホルムの足跡をたずねて(1), (2), (3). 地球科学, Vol. 29, No. 3, p. 148-151. No. 4, p. 196-198. No. 5, p. 247-251.
- 1976 ニーダム・ジョセフ（海野一隆・橋本敬造・山田慶児訳）：「中国の科学と文明—6—地の科学」. 思索社, 387 p.
- 1977 清水大吉郎：ウエルナー その人と学説—「岩石の分類」と「鉱脈の生成に関する新説」—古典紹介—2. 地球科学, Vol. 31, No. 6, p. 263-270.
- 1978 岸本文男：百科全書家 科学者ロモノソフ. 地質ニュース, No. 287, p. 48-55.
- 1978 清水大吉郎：アウイと「鉱物学汎論 1801」—古典紹介—3. 地球科学, Vol. 32, No. 2, p. 99-106.
- 1978 今井 功・片田正人：「地球科学の歩み」. 共立出版, 206 p.
- 1978 歌代 勤・清水大吉郎・高橋正夫：「地学の語源をさぐる」. 東京書籍, 195 p.
- 1979 清水大吉郎：ハットン 地球の理論 (1785, 1795, 1899, 1978). 地球科学, Vol. 33, No. 4, p. 225-232.
- 1980 小林貞一：地質学・古生物学上の稀有の古典〔W. D. CONYBEARE, W. PHILLIPS「イングランドとウェールズの地質概要」(1882), W. B. R. H. DUNKER「日本軟体動物」(1861), C. E. LISCHKE「日本の海の貝類の知識に就いての貢献」(1869—74, 3V.)〕. 科学技術文献サービス, No. 53, p. 23-25.
- 1980 清水大吉郎：キュビエとプロニアール—パリ盆地の地質 1808 ; 1811およびキュビエの学説. 地球科学, Vol. 34, No. 5, p. 295-306.
- 1980 谷本 勉：E. SUSS の「アルプスの起源」(1875). 科学史研究, No. 134, p. 65-72.
- 1981 谷本 勉：19世紀前半の地質学（研究ノート）. 科学史研究, No. 138, p. 104-110.

- 1981 M. ルドウィック (大森昌衛・高安克己訳):「化石の意味—古生物学史挿話—」. 海鳴社, 382 p.
- 1983 武内 博:「来日西洋人名事典」. 日本アリシエーツ, 646 p.
- 1983 伊藤俊太郎・坂本賢三・山田優児・村上陽一郎 (編):「科学史技術史事典」. 弘文堂, 1410 p.
(1983年10月6日受理)